

農学における情報利用研究フォーラムグループセミナー



アラスカ内陸部の永久凍土上に分布する 常緑針葉樹林の温室効果ガス動態

11月12日(月) 15:00~

於: 7号館A棟7階会議室

DATE: 12th Nov. 2018 at 15:00-

VENUE: Meeting Room, #7A Bldg., 7F

speaker

小林 秀樹

国立研究開発法人 海洋研究開発機構 横浜研究所
北極環境変動総合研究センター 主任研究員

農学における情報利用ゼミナールを履修していない学生も参加できます

協賛: 日本農業気象学会 リモートセンシング・GIS 研究部会
農業情報学会 リモートセンシング部会

21世紀以降の北半球の高緯度の温暖化は地球平均を大幅に上回っており、今後もその傾向が続くと予測されています。例えば、2011-2015年の温度上昇は1900年以降で最も大きく、また2015年~2016年のアラスカの冬季は史上最も温暖でした。私達はこうした急変する環境が、アラスカ内陸部の常緑針葉樹林の温室効果ガス放出・吸収過程にどのような影響を与えるかを、現場観測やリモートセンシング技術を駆使して調べています。本セミナーでは、アラスカの環境変動を概説し、温室効果ガス動態の観測や得られた知見を紹介します。

参加申込・問合せ先:
細井文樹 (生物環境情報工学)

contact:
Fumiki HOSOI (ahosoi@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp)
(Lab. of Biological and Environmental Information Engineering.)

information

AGRI-COCOON

Agricultural Research Incubator Community for Cooperative Network of Public, Administrative, Business, and Academic sectors.
room 105A, #3 Bldg., Graduate School of Agricultural & Life Sciences

TEL: 03-5841-8882 (ext. 28882)
e-mail: office@agc.a.u-tokyo.ac.jp
http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp

